

科目名 遠隔教育特講

2023536205 岩木 美詠子

課題1 第1から第8講の中で、興味を持った研究課題についてさらに詳しく調べ、A4用紙1ページにまとめよ。

## 1. 21世紀に求められる学力の概念規定

21世紀型スキルとは、他者との対話の中で、テクノロジーも駆使して、問題に対する解や新しい物事のやり方、考え方、まとめ方、さらに深い問いなど、人類にとっての知識を生み出すスキルである。この概念規定で、考える方法やはたらく方法、世界の中で生きる在り方を貫くものとして、協調的な知識創造が位置づけられる。

21世紀型スキルを誰にでも使えるようにするためには、知識創造を支援する環境として、学校教育において利用可能なものにしていくことが必要である。児童生徒が幅広い21世紀型スキル（アイデア創出、探究、コミュニケーション、問題解決など）を、自然と発揮できる環境へと、学習活動を通して経験し、学ぶことそのものが価値を生み出す時代になるよう、学習指導の改革でその一端を担いたい。

## 2. 資質・能力を引き出す新たな環境づくり(授業と評価)

21世紀に求められる学力を育むインストラクショナルデザインとしての授業づくりを行った。21世紀に求められる学力と授業で育む力のかかわりについては、別表と色で示した。

### 知識創造モデルの学習指導（案）

中学校音楽 題材「音楽とところ ～サウンドスケープをデザインしよう～」

教材 日本の音風景 100選「福岡県太宰府市 観世音寺の除夜の鐘」

YouTube「サウンドスケープ」

本題材は、生徒一人一人が**これまでの音楽表現の技能やAIを用いて**、サウンドスケープを描き、自分のイメージ通りに他者も感じてくれるか、**他者の感受・意見を参考によりよい作品をめざし、音楽と心の関係性を探ろうとする**ものである。

評価においては、できあがった生徒の作品の音楽と表現したいサウンドスケープの場所、用途、場面が結びついているか、妥当なものになっているか、ひとりよがりのものでないかを吟味する形成的評価の場面を仕組むことで、他人と学びあいながら自分なりのゴールを見つけ出す、前向きアプローチの変容的評価を行うことができるよう工夫した。

### ○目標分類表

内容 観 点	知識・技能	思考力・判断力、表現力	主体的に学習に取り組む態度
			学びに向かう力、人間性
サウンドスケープとは	知：サウンドスケープの起こりや考え方をつかむ。		○感性を豊かにし、創造力を培う社会をつくろうとする。
サウンドスケープデザイン	技：音楽生成AIを使い、音楽をデザインする。	○できた音楽の中から自分の気持ちに近いものをめざし <b>試行錯誤</b> する。	○人間の心の動きや感動するのは、など、音楽と人間の心について考えていこうとする。

○計画 計 3 時間

学習活動・内容	留意点 (○)・評価 (◆) ※◆知・技はここでは省略
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">音楽とところ～サウンドスケープをデザインしよう～</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">太宰府観世音寺の除夜の鐘を動画で聴く。 ・残したい日本の音風景</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">博多マルイの館内音楽「太宰府観世音寺の梵鐘」について知る。 ・実際の音色と音風景の音色の違い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">サウンドスケープの動画を見て、自分がつくりたい音風景を考える。 ・場所、用途にあう音楽のイメージ</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">音楽生成 AI で音楽づくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">音楽素材で（演奏して）音楽づくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">鼻歌から音楽づくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">テキストマイニング・ストーリー</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">鍵盤楽器や作曲ソフトで作曲</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">自分がつくったサウンドスケープを吟味する。 ・音楽とイメージの妥当性</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">できた音楽のコンセプトや作成の過程で考えたこと、工夫したことをまとめる。 ・創意工夫のポイント</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">再度できあがった音楽とコンセプトをまとめたものを共有する。 ・他者にも受け入れられるものになっているかの検証</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">音楽と人のイメージや感受について自分の考えをまとめる。 ・音楽の価値や効用</div>	<p>○日本の音風景 100 選の一つである太宰府観世音寺の除夜の鐘を動画で紹介し、サウンドスケープ（音風景）について学習していくことを説明する。</p> <p>○博多マルイ（デパート）では 1・2 階の時を知らせる音楽を日本最古の梵鐘である太宰府・観世音寺の梵鐘の音（現地で収録した音色を現代に置き換えたサウンド）に置き換えて、朝～昼～夜と、時の移ろいに合わせ、さりげなく 1 日の変化を演出していることを紹介する。</p> <p>○現在音楽の手法としてのサウンドスケープを、本学習でデザインしてやることを告げる。ここでは、Google Classroom に「音から風景を感じることができるー「サウンドスケープ」を考える」(Screenless Media Lab.)、「サウンドスケープデザインをマーケティングに生かす（株式会社クマベイス）」を参考資料として載せておく。</p> <p>○表現方法は生徒の興味・関心や技能によって、選ぶよう指示する。例えば音楽生成 AI 「Music LM」では、つくりたい音楽のイメージの条件をいれてつくる。鼻歌、楽器やジャンル、表現したいイメージなどを生徒が自由に選び進めていくが、出力した音楽の説明のために、どのようなプロセスで音楽づくりをしていったか、スライドに残していくよう指示する。</p> <p>○表したい音風景は、音楽に写真か動画とあわせて用意するよう指示しておく。</p> <p>○つくったサウンドスケープの音楽とイメージの妥当性を図る場としてできた生徒から Jamboard に貼って意見を求める。</p> <p>◆思：できた音楽が自分のイメージしたい場所や用途、場面のサウンドスケープとしてあっているか。  <div style="text-align: right;">&lt;作品チェック、スライド分析&gt;</div> </p> <p>○現代音楽の側面として、人々に受け入れられなければ淘汰されていくことを補足し、他者に意見を求め、意見を参考にし音楽を修正していくよう説明する。</p> <p>○サウンドスケープづくりを通して、考えたこと、気づいたことを、音楽と人の心とのつながりの観点でまとめること、本学習を通して身についた力について振り返ってみること、の 2 点を、e ポートフォリオにまとめるよう指示する。</p> <p>◆主：音楽の価値や、人が暮らしの中で心を豊かにするとは、など、音楽と心について自分の考えをもととしてしているか。  <div style="text-align: right;">&lt;様相チェック、スライドチェック&gt;</div> </p>

別表

21世紀型学力	<p>「21世紀を生き抜く力」として、教科等を横断する汎用的なスキル（コンピテンシー）等に関わるもの</p> <p>①汎用的なスキル等としては、例えば、問題解決、論理的思考、コミュニケーション、意欲など</p> <p>②メタ認知（自己調整や内省、批判的思考等を可能にするもの）</p> <p>③他者と共に新たな知識を創造していく力</p>
21世紀型の学力構造	<p><b>基礎力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科で獲得した基礎的・基本的な知識・技能および、それらを使いこなす資質・能力</li> </ul>
	<p>思考力を支える力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技術革新を背景に、情報化が著しく進む今日において、情報や通信機器を使いこなす能力情報スキル</li> </ul>
	<p><b>思考力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が自ら学び判断し自分の考えをもって、他者と話し合い、考えを比較して統合し、よりよい解や新しい知識を創り出し、さらに次の問いを見つける力</li> <li>問題の解決や発見、アイデアの生成に関わる問題解決・発見力・創造力、その過程で発揮され続ける論理的・批判的思考力、自分の問題の解き方や学び方を振り返るメタ認知、そこから次に学ぶべきことを探す適応的学習力等</li> </ul>
	<p><b>実践力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会、環境の中に問題を見つけ出し、自分の知識を総動員して、自分やコミュニティ、社会にとって価値ある解を導くことができる力</li> <li>さらに解を社会に発信し協調的に吟味することを通して他者や社会の重要性を感得できる力</li> <li>自分の行動を調整し、生き方を主体的に選択できるキャリア設計力、他者と効果的なコミュニケーションをとる力、協力して社会づくりに参画する力、倫理や市民的責任を自覚して行動する力など</li> </ul> <p>思考力の使い方を方向づける力</p>
評価の過程	メタ認知、自己調整、振り返り
評価	形成的評価、総括的評価

国立教育政策研究所編：社会の変化に対応する資質や能力を育成する教育課程編成の基本原則（2013）

従来の学習との違い

知識知識創造